

スコール No.37

令和2年1月30日

なんか いいことないかな

名古屋市立山田高等学校進路指導部

自分の物語を 生きていける

『生きるとは、自分の物語をつくること』 小川洋子 河合隼雄 (新潮文庫)

小川洋子は、小説家。河合隼雄は、臨床心理学者、カウンセラー。二人の対談集からの抜粋ですが、二人とも「物語」を大切だと思っているということは、一致しているようです。

小川は、

「人は、生きていくうえで難しい現実をどうやって受け入れていくかということに直面した時に、それをありのままの形では到底受け入れがたいので、自分の心の形に合うように、その人なりに現実を物語化して記憶にしていくという作業を、必ずやっている」

と言い、河合は、

「(カウンセリングに) 来られた人が自分の物語を発見し、自分の物語を生きていけるような「場」を提供している」

と返す。「自分の物語をつくる」と言われても、イメージしにくいかもしれないが、自分を物語そのものと意識するということなのかな(今という点だけでなく、続いていくもの、つながりあるものとしてとらえるということも含まれる)と思います。それには、それなりに、精神力も、社会への洞察力も、言葉の力も必要なわけですが、私は生きる上での大切なヒントだと思っています。

「主体性評価」の本格的な導入も入試制度改革の柱でした。今回は、その情勢と対応についてお知らせします。「求められる「学力」が変わる！」みたいな営業用フレーズは、大抵このことか、すでに見送りとなった記述式のことを指しています。しかし、多分に、「求められる「学力」が変わる」なんてことは、ないようです。

1 「主体性評価」とは、

2007年に学校教育法で規定された学力の3要素（※）のうちの「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を大学入学者選抜で評価するという発想から始まっています。

これまで大学入学者選抜の評価が「知識・技能」に偏重しており、それが適切ではないと考えられたため、他の要素も評価しようとしたわけです。そして、文科省の委託を受けた大学と研究者が、その実践的で具体的な評価手法を構築することとなりました。

（※）学力の3要素

- (1) 知識・技能 (2) 思考力・判断力・表現力等 (3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

2 「実践的で具体的な評価手法」とは、

生徒が、主体的な活動の経過も含めた成果を Japan e - Portfolio (JeP) という web 上のシステムに蓄積。各大学がその「JeP」から個々人の記録を入手し、入学者選抜に生かすというもの。

資格・検定の取得や部活動等の表彰に加え、部活動等の活動への取り組みそのもの（入賞等の目に見える結果が伴わなくても）や、研究活動、ボランティア活動への取り組みの記録などが想定されていたと思われます。つまり、かなり膨大になる記録を精査し、他の試験結果と加えて総合的に評価することが、理想としては、求められていたことになります。

3 現状

文科省の指導により、各大学が導入、もしくは、検討をしていたが、具体的な方策・物理的な作業の困難さ（特に多人数の選抜作業を想定した場合）に加え、そもそも高校での導入が広まらないところへ、年末に立て続けに新入試制度改革の大きな柱であった2点（英語の民間資格・検定試験の導入、大学入試センターが行う「共通テスト」への記述の導入→これが学力の3要素ひとつである「思考力・判断力・表現力等」の評価にあたる）が、延期・見送りになったことを受けて、急速に撤退が広がっているようです。（裏面）

今年度は、全大学の4%以下の参画（786校中28校）に留まっています。東海3県では、3私大（県内1私大）のみの参画。その3私大（1校は次年度撤退）を調べたところ、今まで証明書の提出や調査書記載で済んでいた資格・検定・表彰等の記録を、「JeP」か、他の媒体（これまで通りの証明書や賞状のコピーなど）で提出すればよいようです。結局、理想としていた取り組み状況の詳細な記録（主体性の記録）までをもすべての入試に反映させるようなものにはなっていないと考えてよさそうです。←ただ、その理想に（実施可能な方法で）近いと思われる入試は、以前からAO入試を中心に行われていました。

4 今後の対応について

本校では、活動の記録を紙媒体に記録すると共に、スタディサプリの「ポートフォリオ」機能に記録するところまでは取り組んでいます。その記録を基に「活動報告書」的なものを作成する機会が増える可能性は高いです。また、サプリアから、「JeP」に転送が可能になっています。ただ、現状を鑑みて、全体として「JeP」につなげることはしない予定です。そこで、裏面も参考にしつつ志望校を調べ「JeP」に参画する大学を受験する可能性がある場合は、一度進路指導室へ相談に来てください。個別の対応としたいと考えています。